:各動の動好 -地域おこし協力隊



平成29年4月から小鹿野町地域おこし協力隊として 活動しています。この3年間の活動は、採用面接の時に すでに決まっていたのではないかと感じています。

平成29年3月15日、小鹿野町役場小鹿野庁舎2階 の第2会議室にて、私は小鹿野町地域おこし協力隊の 採用面接を受けました。

面接では、経歴についての話のほか、えごまの栽 培・商品化・販売を行い、事業化していきたいとの話を 一通り話した後、最後に前副町長から唐突にそれまで の形式的なやりとりとは違い、フランクな話し方で「本 当にできるの? |と聞かれ、咄嗟に「できると思っている から、ここに来ています」と返しました。

質問にも自分の言葉にも少し驚きましたが、言って しまったからには「やるしかないでしょ! |という気分で した。

私は東京都目黒区生まれで、畑といえば小学生の 時に芋掘りをした程度、プランターでハーブなどを育て ることを試したこともありますが、全くうまく育ちませんで した。

地域おこし協力隊として活動してみると、えごま栽培 は知らないことばかりで、たくさんの方々に助けていた だきました。

商品開発では、えごまのお茶、炒りえごま、木工用え ごま油、えごまみそ等を作ったり、小鹿野町内や秩父地 域等での祭り、イベント、歌舞伎、講演、展示会などにも チャレンジさせていただきました。

生活面でも各町内の地域コミュニティの中で祭りや

『やるしかないでしょ!』

地域おこし協力隊 太田 誠

地域自治など共同体として生活をするという事を体験 できたのは、とても新鮮でした。

そのようなたくさんの経験をさせていただき、地域お こし協力隊の任期終了後は、えごまの栽培・商品化・ 販売を事業として開始させていただきます。屋号は『エ ゴマカンパニー』としました。

事業の目的として「すべての人が心身ともに健康で 暮らせる社会の創造 |を掲げ、えごま事業を中心に展 開していく予定です。たくさんの皆さまに応援していた だき、ここまでやってくることができました。ありがとうご ざいます。

これからは事業によりお世話になった方々にお返し できるような存在になっていきます。

『エゴマカンパニー、やるしかないでしょ!』





鹿野 HT.

地域的它LM力障通信vol20

小鹿野の栗はちみつ入荷 いたしました!(片桐)





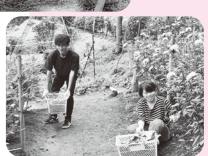
両神農林産物直売所の 感謝祭に出店しました。



9月は埼玉新聞に掲載して頂いたり、都内移住促進 イベントで登壇、観光交流館での秩父織物リメイク イベントを行いました。10月はおがのライダー宿 に参加し、11月には郷土芸能祭で白浪五人男に捕 手役として出演予定です!(宮本)



鳥取大学、明治大学から学 生さんが来町され、えごま 栽培、ダリア園の花摘み、尾 ノ内作業、吉田牧場作業等 を体験いただきました!歓迎 してくださった方々、自転車 をお貸しくださった方々、あ りがとうございました。(本)



小鹿野の特産品で商品開発を行っております。 今回は東京の蒸留所に柚子のリキュールを 西武秩父駅前で小鹿野のアンテナショップにも なる店舗を11月中にOPEN予定です。ぜひ呑 みに来てください♪(工藤)



捕獲したサルに発信機を 取り付け、生息域調査を行 いました。(星)



太田 誠・星 利彦・沢田 朋輝

本 奈代子・片桐 翔太・工藤 エレナ・宮本 莉帆

「小鹿野町地域おこし協力隊」の活動

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課☎75-1238 両神庁舎·産業振興課☎79-1101 おもてなし課☎79-1100



早めにライトを点灯しましょう

例年、交通事故は夕暮れ時から夜間の時間帯に多発する傾向が見られます。

さらに冬期は夏期と比べて発生件数が多くなっています。車・バイク・自転車は、午後4時に なったらライトを点灯しましょう。

また、歩行者・自転車は、明るい服装で反射材を活用しましょう。

問合せ●小鹿野庁舎・住民生活課☎75-4170



10 広報 おがの 11月号